

平成28年度 天草郡市小中学校文化展（壁新聞）

天草郡市小中学校文化展・壁新聞の部に作品をお寄せいただき、ありがとうございました。

展示作品（11月1日～11月4日 天草教育会館に展示しました。）

	部 会	学校名	新 聞 タ イ ト ル	学 年	所属(班)・ 代表者 ・ 制作者数
1	天草市	浦和小	天草にこだわるきゅうきよくの 松下かまぼこ	3	松本さん・ 4名
2	天草市	浦和小	天草の人をはこぶ バスセンター	3	岡田さん・ 4名
3	上天草市	姫戸小	安全たいさく新聞	4	2班 ・ 碓さん ・ 5名
4	天草市	久玉小	わくわく新聞	4	・ 岩下さん ・ 4名
5	天草市	本渡南小	今伝えたいこと	5	3組新聞係 ・ 松下さん ・ 5名
6	天草市	島子小	幸せに生きるための福祉新聞	5・6	1班 ・ 荒木さん ・ 2名
7	天草市	河浦中	河浦歴史新聞	1	1年1組 ・ 森田さん ・ 5名
8	上天草市	松島中	架ける	1	A組 ・ 瀬川さん ・ 4名
9	天草市	牛深東中	共生社会を目指して	2・3	健康福祉コース ・ 岩崎さん ・ 5名
10	天草市	牛深東中	医療道	3	5班 ・ 濱崎さん ・ 2名
11	天草市	牛深東中	夢の実現に向けて	3	3班 ・ 石橋さん ・ 4名

その他の応募作品（賞状は各支部で対応をお願い致します。）

	部 会	学校名	新 聞 タ イ ト ル	学 年	所属(班)・ 代表者 ・ 制作者数
1	天草市	浦和小	お客さんいっぱい リンドマールタイヨー	3	・ 松本さん ・ 4名
2	天草市	浦和小	れきしをつたえる 銀天がい	3	・ 平林さん ・ 4名
3	上天草市	姫戸小	交通事このたいさく新聞	4	3班 ・ 楠本さん ・ 4名
4	上天草市	姫戸小	地震・火災新聞	4	1班 ・ 鹿釜さん ・ 4名
5	天草市	本渡東小	さいがい新聞	4	A班 ・ 金子さん ・ 3名
6	天草市	本渡東小	消防署新聞	4	B班 ・ 黒川さん ・ 3名
7	天草市	久玉小	いろいろ新聞	4	1組 ・ 馬田さん ・ 4名
8	天草市	久玉小	イキイキシん聞	4	1組 ・ 宇佐見さん ・ 4名
9	天草市	佐伊津小	地しん新聞	4	・ 北辻さん ・ 4名
10	天草市	佐伊津小	災害新聞	4	・ 出口さん ・ 3名
11	天草市	佐伊津小	生き物新聞	4	・ 田中さん ・ 4名
12	天草市	佐伊津小	交通新聞	4	・ 平田さん ・ 4名
13	天草市	瀬戸小	けんこう新聞	4	1組3班 ・ 江崎さん ・ 4名
14	天草市	瀬戸小	瀬戸の安全・安心新聞	4	1組5班 ・ 山口さん ・ 4名
15	天草市	瀬戸小	東京オリンピック新聞	4	1組4班 ・ 松本さん ・ 5名
16	天草市	本渡南小	ウーパールーパーについて	4	2組 ・ 松本さん ・ 1名
17	天草市	島子小	幸せを運ぶ福祉新聞	5・6	2班 ・ 松本さん ・ 4名

	部 会	学校名	新 聞 タ イ ト ル	学 年	所属(班)・ 代表者 ・ 制作者数
18	上天草市	松島中	三代目 j. h. s	1	A組 ・ 福吉さん ・ 5名
19	上天草市	松島中	松島プライド	2	A組 ・ 松田さん ・ 2名
20	天草市	牛深東中	健康睡眠新聞	2・3	健康福祉コース ・ 小川さん ・ 5名
21	天草市	牛深東中	入試システムと高校生活	3	1班 ・ 榎田さん ・ 3名
22	天草市	牛深東中	開け 夢の扉	3	2班 ・ 石本さん ・ 3名
23	天草市	牛深東中	夢実現	3	4班 ・ 沖崎さん ・ 3名
24	天草市	牛深東中	中卒者のその後の進路	3	6班 ・ 須崎さん ・ 1名
25	天草市	牛深東中	公立高校について	3	7班 ・ 江良さん ・ 3名

選定を終えて (10月18日、教育会館において、審査員3名で選定いたしました。)

☆学習したことや生活の中の身近な話題を取り上げるなど、学年に応じた内容の工夫が見られた。

☆小見出しに工夫が見られる作品があった。小見出しを読むと内容が理解できるよう工夫されていた。

☆今年は36点の応募で、いそがしい中、新聞づくりに取り組んでいただきありがたかった。特に中学校からの応募が増え、意欲を感じた。

☆中学校の内容が年々充実してきている。

★新聞のタイトルの大きさ・場所・文字の太さなどの工夫をすともっとよくなると思われる作品が見られた。また、タイトルや小見出しのまわりの色の塗り方に工夫が足りない作品があった。UDの視点からも色遣いにも配慮していただきたい。

★新聞のテーマと内容との整合性を図る指導をお願いしたい。編集会議など事前に新聞にまとめる内容を練り、その上で指導を入れて内容の充実、誤字脱字の点検等を行っていただきたい。

★記事の文字の大きさが一貫していないものが見られた。また、紙面割りが大きく2段切り、3段切りなどであったり、紙面構成上工夫の見られない作品があった。トップ記事やコラムなど記事に応じて適切なレイアウトを考えてほしい。

★「新聞」の「聞」の誤字は昨年度に比べて減ったものの、やはり数点見られた。新聞のタイトルや見出しは誤字があるととても目立つので特に気をつけて指導してほしい。

★文章の主述のねじれが何点か見られた。下書きの段階で指導者の確認が必要と思われる。

★指導の際に記事の内容や掲載する写真については、著作権に配慮してほしい。

- ・カタログなどを切り貼りしたり、既存のキャラクター書いたりする場合、著作者の許可を得なければならないこともある。
- ・本の内容を引用する場合は、出典を明記するなどの配慮をお願いしたい。
- ・指導していただいていると思うが、今後も掲載用の写真を撮影する場合、使用目的を告げて撮影許可を得るよう配慮していただきたい。

★著作権と同様、個人情報の保護にも配慮してほしい。校内のみの掲示ならば問題はないかもしれないが、校外の作品展に出す場合は、個人のわかるような大きな顔写真は避ける配慮をしていただきたい。

○作成上の基本的注意事項

- ・記事は太さの同じペンで書き、記事と記事の間に1文字分程度の空白をとる。
- ・広用紙縦4～5段を基本として、トップ記事を大きくするなどレイアウトを工夫する。
- ・輪郭や段組の境界線などは定規を使って引く。
- ・強調したい場合は、サイドラインよりも太字にするか文字の色を少し濃くしたほうがよい。
- ・色の使いすぎに注意。また、黄色は見えづらいので他の色と組み合わせて使った方がよい。(バックの色は濃く塗りすぎないように)
- ・タイトルや見出しには誤字がないようにする。

※上記の注意事項を、制作指導の参考にさせていただきますようお願い申し上げます。
ご多用な中、制作に取り組んでくださってありがとうございました。